

令和5年定例会 12月定期議会  
産業建設常任委員会調査報告書

令和5年12月22日

産業建設常任委員会

# 産業建設常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和5年9月7日～令和5年12月5日

日時	活動区分	内容	頁
9.7(木) 14:13～14:30	委員間討議①	《委員のみ》 ■9月定期議会中における委員会並びに分科会日程について	-
9.12(火) 15:35～16:44	所管事務調査①	《産業経済部》 ■放射性物質に汚染された農林業系廃棄物（一般廃棄物）の処理について 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員7名 産業経済部 千葉部長ほか4名	3
10.23(月) 10:00～11:28	委員間討議②	《委員のみ》 ■事務事業評価の取りまとめについて ■今後の委員会活動について 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員7名	-
11.6(月) 13:35～16:04	所管事務調査②	《建設部》 ■立地適正化計画について 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員7名 建設部 伊藤部長ほか6名	-
	委員間討議③	《委員のみ》 ■事務事業評価等を通じた提言（案）について 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員7名	
11.29(水) 13:30～16:00	委員間討議④	《委員のみ》 ■宮城県市議会議長会春季定期総会提案議案について 〔出席者〕 佐々木好博委員長ほか委員6名	6
	所管事務調査③	(現地調査) ■企業訪問 ・株式会社佐藤製材所（登米インター工業団地） 〔参加者〕 佐々木好博委員長ほか委員6名	

# 産業建設常任委員会 活動概要

## 【所管事務調査①】

1. 日 時：令和5年9月12日（火） 午後3時35分～午後4時44分
2. 場 所：迫庁舎 第3委員会室
3. 事 件  
＜産業経済部＞  
放射性物質に汚染された農林業系廃棄物（一般廃棄物）の処理について
4. 出席者：委員長 佐々木好博、副委員長 遠藤真理子、  
委員 永島順子、工藤淳子、武田節夫、中澤 宏、及川昌憲、  
相澤吉悦  
  
(産業経済部) 産業経済部長 千葉昌彦、  
産業経済部次長兼農林振興課長 小野寺 仁、  
参事兼農政課長 佐藤貴光、農政課 畜産振興係長 増子 伸、  
産業総務課課長補佐 金澤勝彦  
  
(議会事務局) 政策・改革係長 主藤貴宏
5. 概 要：(別紙のとおり)
6. 所 見：(別紙のとおり)

## ■放射性物質に汚染された農林業系廃棄物（一般廃棄物）の処理について

### ○概 要

放射性物質に汚染された農林業系廃棄物（一般廃棄物）の処理にあたっては、現在の計画では土壌還元により進め、令和13年度までに1,485トンの処理を終える予定としている。

宮城県より放射性物質に汚染された農林業系廃棄物（一般廃棄物）の県外処理に係る情報提供を受けたことから、本市で今後の対応を検討するにあたり、委員会の意見を求められたもの。

### 【本市の処理方針・処理計画】

平成29年度に行った実証試験の結果、安全性が確認されたことから、平成30年度から汚染牧草及び堆肥化堆肥を活用した草地更新を実施している。

処理計画では、400ベクレル/kg以下のものは令和5年度で、400ベクレル/kgを超えるものは令和13年度までに処理を終える予定である。

### 【県外処理に係る特記事項】

#### （1）事業者情報は非公表

受入自治体への風評被害や、今後、県外処理を予定している他市町村の処理にも影響を及ぼす恐れがあるため、処理先の情報は一切公表しないことが条件となる。

#### （2）受入条件など

受入条件	・ 運搬業者は搬出元自治体で確保すること ・ 受入濃度、受入量は施設の状況に応じて個別に検討 ・ 搬出前（3か月以内）に放射線濃度を再測定すること 等
処理施設 立地自治体	・ 処理対象量等が決まり次第、処理施設の立地自治体にその内容を伝える必要がある。
処理方法	・ 焼却等による処理（再資源化も含む） ※事業者側で処理するため、焼却灰などが戻されることはない

#### （3）財源

国庫補助金の「放射性物質汚染廃棄物処理事業費補助金」の対象となる見込み

#### （4）産業建設常任委員会としての意見

県外処理は行わず、現行の処理計画どおり進めるべきである。

## ○所 見

放射性物質に汚染された農林業系廃棄物（一般廃棄物）の処理について、特別委員会からの提言、その後の実証実験を経て、本市では土壌還元による処理方針を決定した。現状として、市民理解の下、計画どおりに処理が進められている。

今回、県から示された県外処理の内容では、処理業者の情報が開示されないことや、処理期間がどの程度短縮するかわからないなどの理由により、現状の処理方針のまま進めるべきであると判断し、結論付けた。

また、これまで行われてこなかった保管農家に対する協力金の支給に向けた協議を進める必要がある。

## 産業建設常任委員会 活動概要

### 【所管事務調査③】

1. 日 時：令和5年11月29日（水） 午前1時30分～午後4時
2. 場 所：迫庁舎 第1委員会室、  
株式会社佐藤製材所（登米インター工業団地）
3. 事 件  
＜委員のみ＞
  - （1）宮城県市議会議長会春季定期総会提案議案について
  - （2）企業訪問
4. 出席者：委員長 佐々木好博、副委員長 遠藤真理子、  
（参加者） 委員 永島順子、工藤淳子、武田節夫、及川昌憲、相澤吉悦  
欠席者：委員 中澤 宏  
  
（議会事務局）政策・改革係長 主藤貴宏
5. 概 要：（別紙のとおり）

## ■企業訪問

### ○概要

市内企業の状況を把握するため企業訪問を実施した。

今回、登米インター工業団地に製材工場を建設中の株式会社佐藤製材所を訪問し、「雇用の現状」や「工場増設後の事業展開」などについて意見交換を行った。



新工場稼働後は、輸出も視野に入れ、市内産材の販路拡大を図りたいとのことであった。



来春稼働予定の新工場は順調に建設が進んでおり、完成すれば県内でも最大規模の製材所となる。



カーボンニュートラルに向けた取組の一つとして導入する木質バイオマスボイラー